



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 25日

茨城県知事
大井川 和彦殿

提出者

住 所 茨城県神栖市東和田4番地
氏 名 鹿島石油株式会社
常務取締役 鹿島製油所長
遠藤 文子

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0299-97-3104

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島石油株式会社 鹿島製油所
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田4番地
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	石油精製業
②事業の規模	平成16年7月1日より精製受託会社となり出荷額の提示は出来なくなりました。
③従業員数	551人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料-1参照。

(日本工業規格A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

平成11年3月、環境対策をより適切に行うため、ISO14001の認証を取得し、廃棄物対策に関する環境目的・目標を掲げ継続的な取り組みを実施してきている。

添付資料－2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（脱水前）	汚泥（脱水後）
	排出量	4,149 t	415 t
	(これまでに実施した取組) 1. 脱水機による脱水を実施。(発生量 4,149ton→415ton) 又、発生元の排水処理施設で使用する凝集剤等の適正管理の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（脱水前）	汚泥（脱水後）
	排出量	6,400 t	640 t
	(今後実施する予定の取組) 1. 今後も脱水機の維持管理を行い、脱水機による廃棄物抑制を継続していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当社では、発生した廃棄物は可能な限り再資源化するために、添付資料－3の「廃棄物分別基準」にて教育をすると共に協力会社を含めた全所に配布し分別による再資源化を図っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記「廃棄物分別基準」を継続し、新規廃棄物発生時等に対応するため、常に見直しを図り、再資源化の推進を行っていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ※ 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ※ 実績なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 1. 脱水機による発生汚泥の脱水		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 1. 脱水機による発生汚泥の脱水を引き続き行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ※実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ※実績なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度実績】 別紙参照					
	産業廃棄物の種類					
	全 処 理 委 託 量					
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量					
	再生利用業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量					
	(これまでに実施した取組) 2011年2月から電子マニフェストを導入し、2012年8月から電子化100%を 継続中である。					

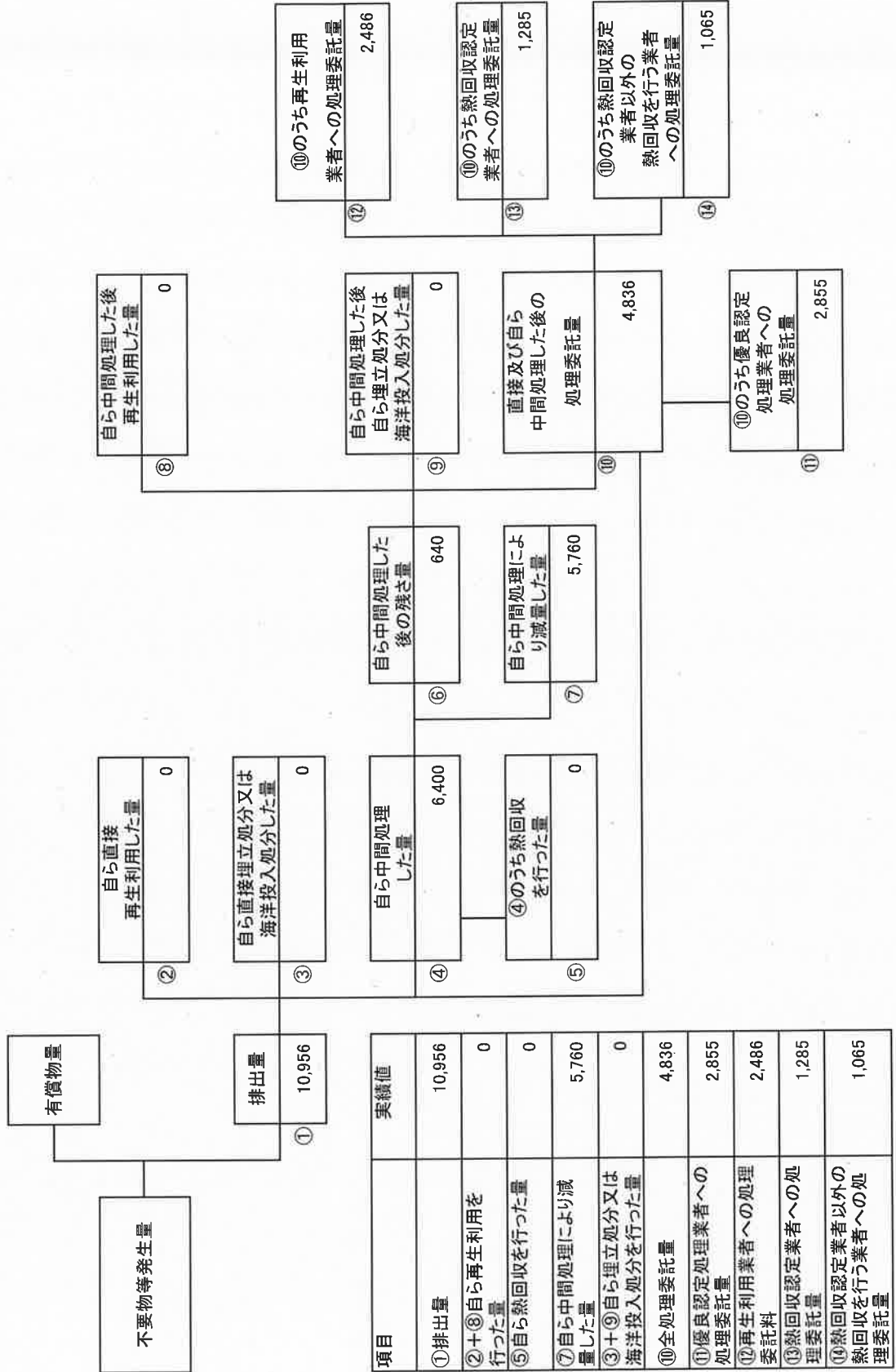
②計画	【目標】 別紙参照					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量					
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
	(今後実施する予定の取組) 2011年2月から電子マニフェストを導入して、2012年8月から100%電子化となり現在も100%を継続中である。今後、新規契約が発生した場合にも電子化への推進を図っていく。					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

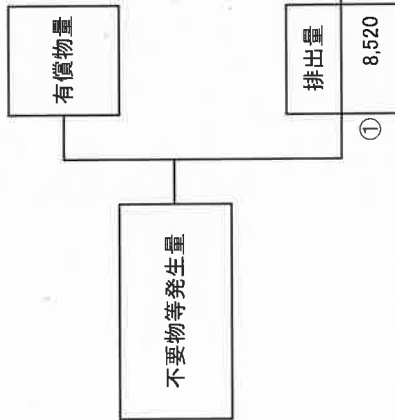
計画

(産業廃棄物の種類：総括表)

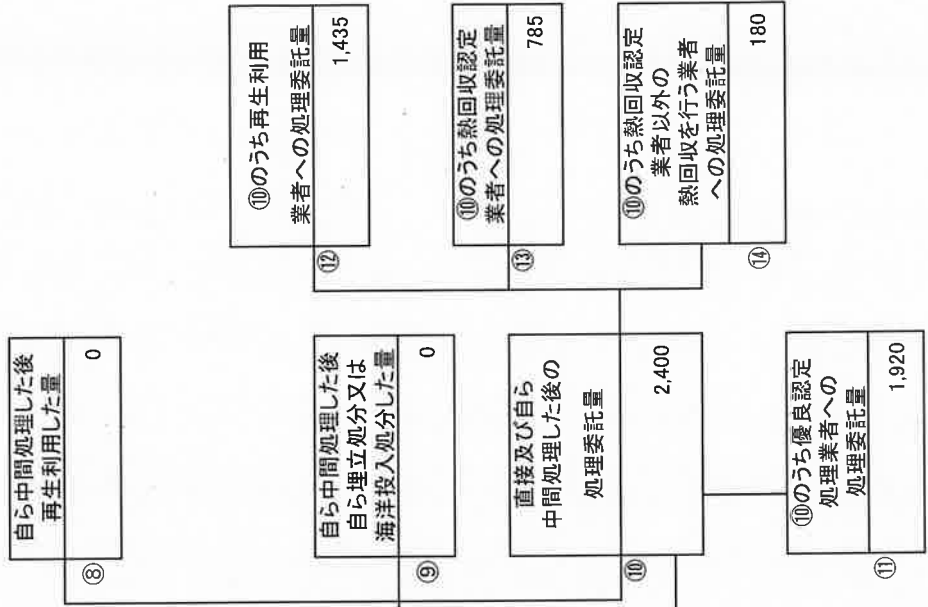


計画

(産業廃棄物の種類：汚泥)

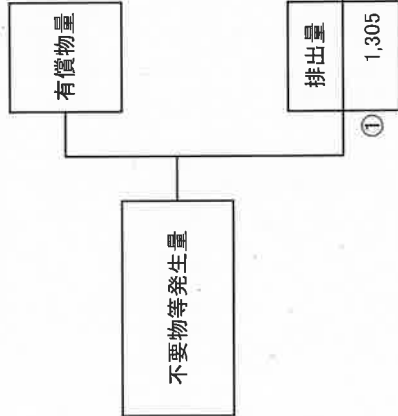


項目	実績値
①排出量	8,520
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	5,760
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,400
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,920
⑫再生利用業者への処理委託料	1,435
⑬熱回収認定業者への処理委託量	785
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	180



計画

(産業廃棄物の種類：廃油)



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行った量	0
---	--------------	---

⑥	自ら中間処理した後の残ざ量	0
---	---------------	---

⑦	自ら中間処理により減量した量	0
---	----------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	-----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1,305
---	---------------------	-------

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	655
---	---------------------	-----

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	10
---	-------------------	----

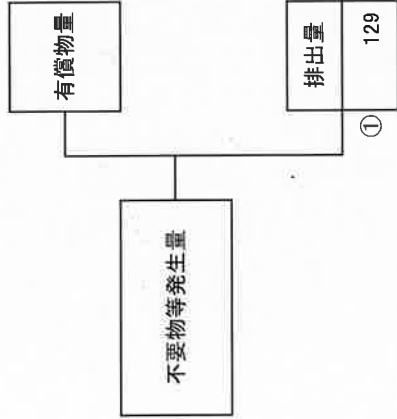
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	500
---	--------------------	-----

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	795
---	-------------------------------	-----

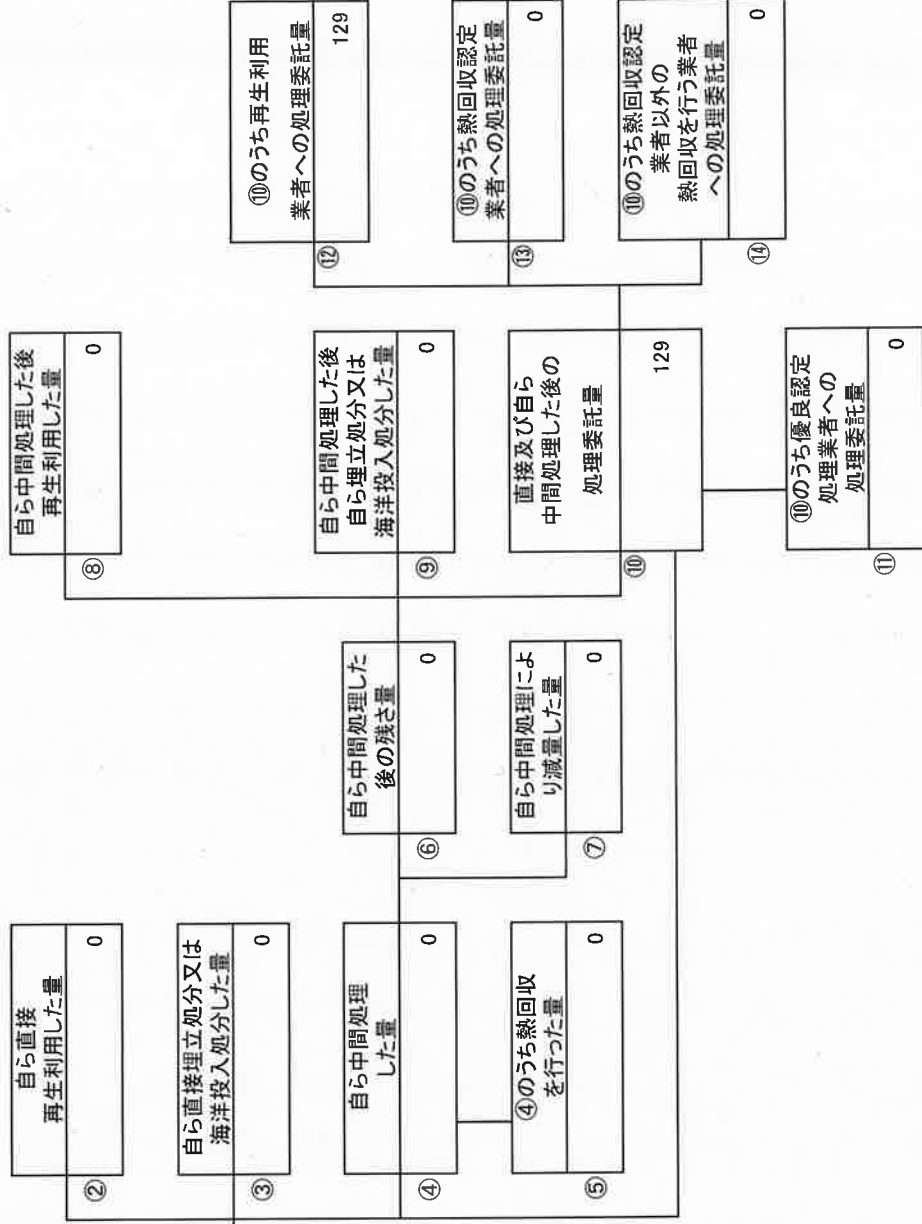
項目	実績値
①排出量	1,305
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,305
⑪優良認定処理業者への処理委託量	655
⑫再生利用業者への処理委託料	10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	500
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	795

計画

(産業廃棄物の種類：がれき類)

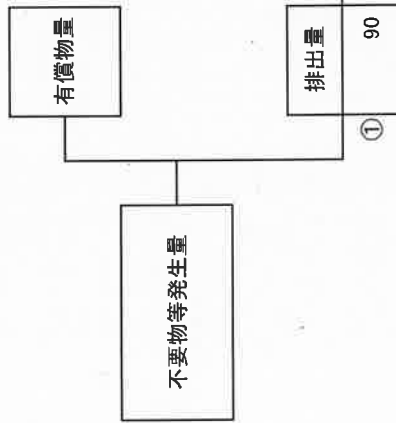


項目	実績値
①排出量	129
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	129
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託料	129
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

項目	実績値
①排出量	90
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	80
⑫再生利用業者への処理委託料	10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80

⑥	自ら中間処理した後の残量	0
---	--------------	---

⑦	自ら中間処理により減量した量	0
---	----------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行った量	0
---	--------------	---

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	90
---	---------------------	----

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	80
---	---------------------	----

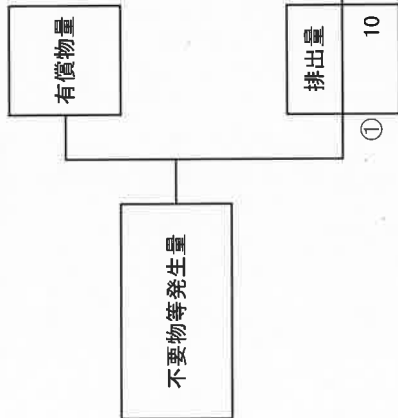
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	10
---	-------------------	----

⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80
---	-------------------------------	----

計画

(産業廃棄物の種類：金属くず)



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行った量	0
---	--------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	10
---	---------------------	----

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0
---	---------------------	---

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---	-------------------	---

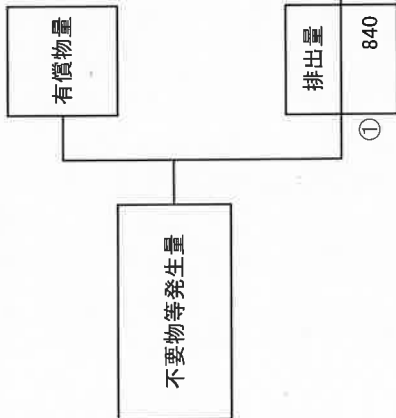
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10
---	-------------------------------	----

項目	実績値
①排出量	10
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託料	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10

計画

(産業廃棄物の種類：ばいじん)



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行った量	0
---	--------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	840
---	---------------------	-----

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	200
---	---------------------	-----

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	840
---	-------------------	-----

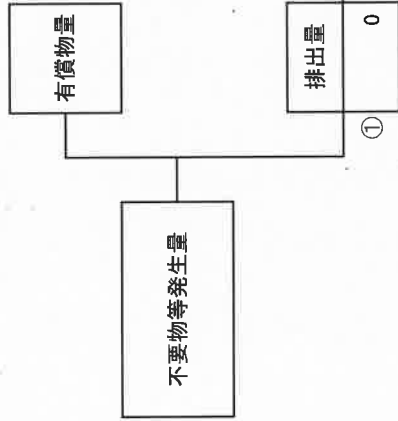
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
---	-------------------------------	---

項目	実績値
①排出量	840
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	840
⑪優良認定処理業者への処理委託量	200
⑭再生利用業者への処理委託料	840
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑤	④のうち熱回収を行った量	0
---	--------------	---

⑥	自ら中間処理した後の残量	0
---	--------------	---

⑦	自ら中間処理により減量した量	0
---	----------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	-----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0
---	---------------------	---

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0
---	---------------------	---

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---	-------------------	---

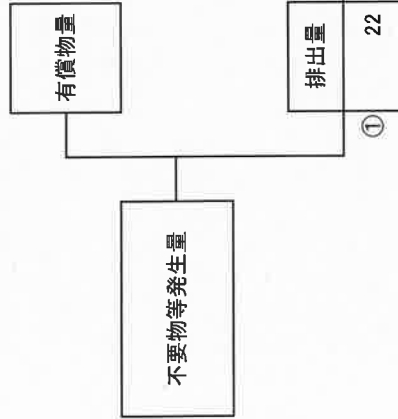
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
---	-------------------------------	---

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑬再生利用業者への処理委託料	0
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0
⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)



②	自ら直接 再生利用した量	0
---	-----------------	---

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
---	-------------------------	---

項目	実績値
①排出量	22
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	22
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託料	22
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

⑧	自ら中間処理した後 再生利用した量	0
---	----------------------	---

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
---	------------------------------------	---

⑥	自ら中間処理した 後の残さ量	0
---	-------------------	---

⑦	自ら中間処理によ り減量した量	0
---	--------------------	---

④	自ら中間処理 した量	0
---	---------------	---

⑤	④のうち熱回収 を行った量	0
---	------------------	---

⑩	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	22
---	-----------------------------	----

⑪	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0
---	-----------------------------	---

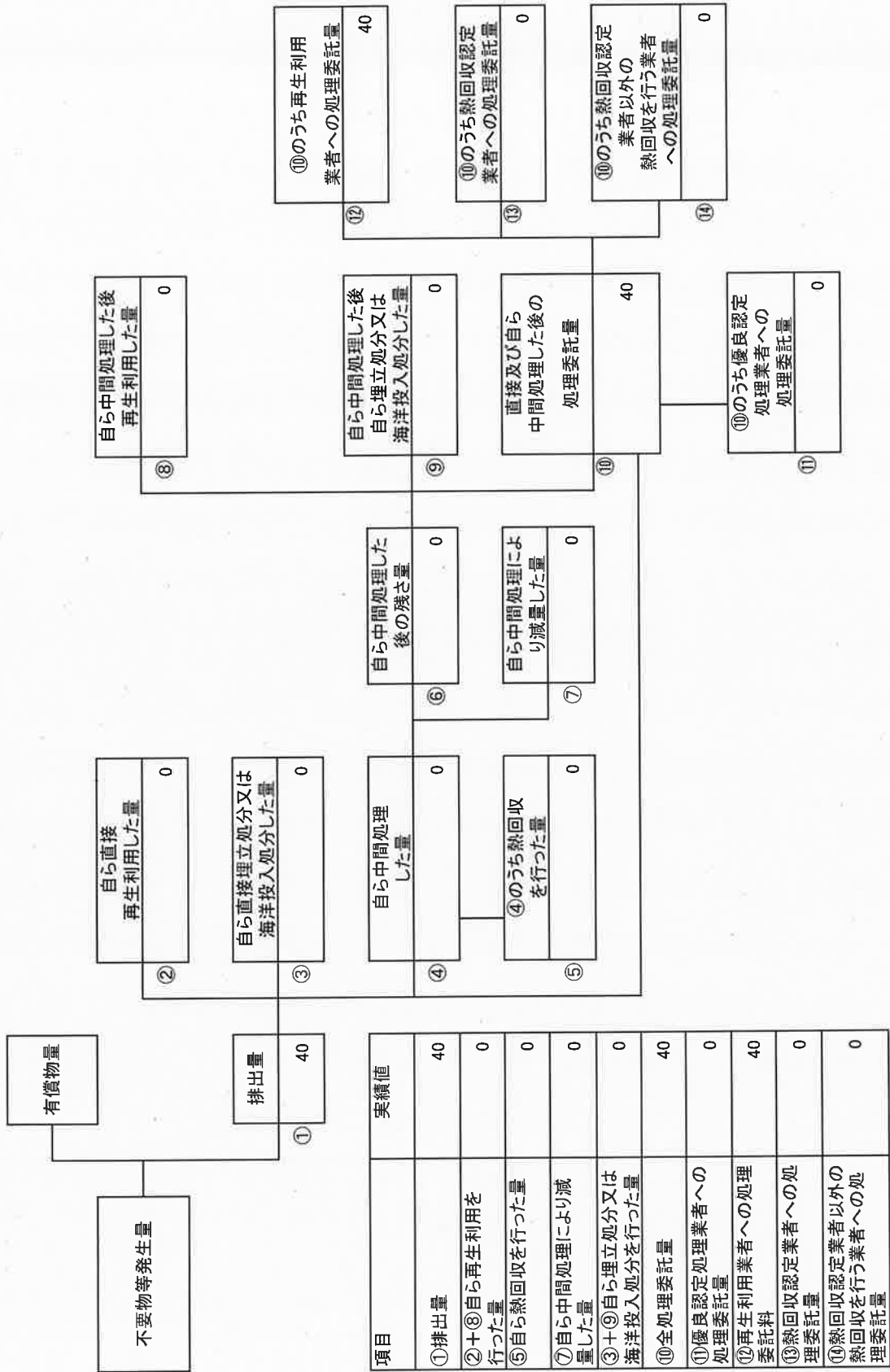
⑫	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	22
---	-----------------------	----

⑬	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0
---	------------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---	---	---

計画

(産業廃棄物の種類：木くず)



一 覧 表

排出量 (単位:t)	総計	汚泥	廃油	がれき類	廃プラスチック類	金属くず	ばいじん	廃アルカリ	ガラス 陶磁器くず	木くず
令和 6年度実績	7645	5350	1299	198	107	7	621	0	31	33
令和 7年度計画	10956	8520	1305	129	90	10	840	0	22	40

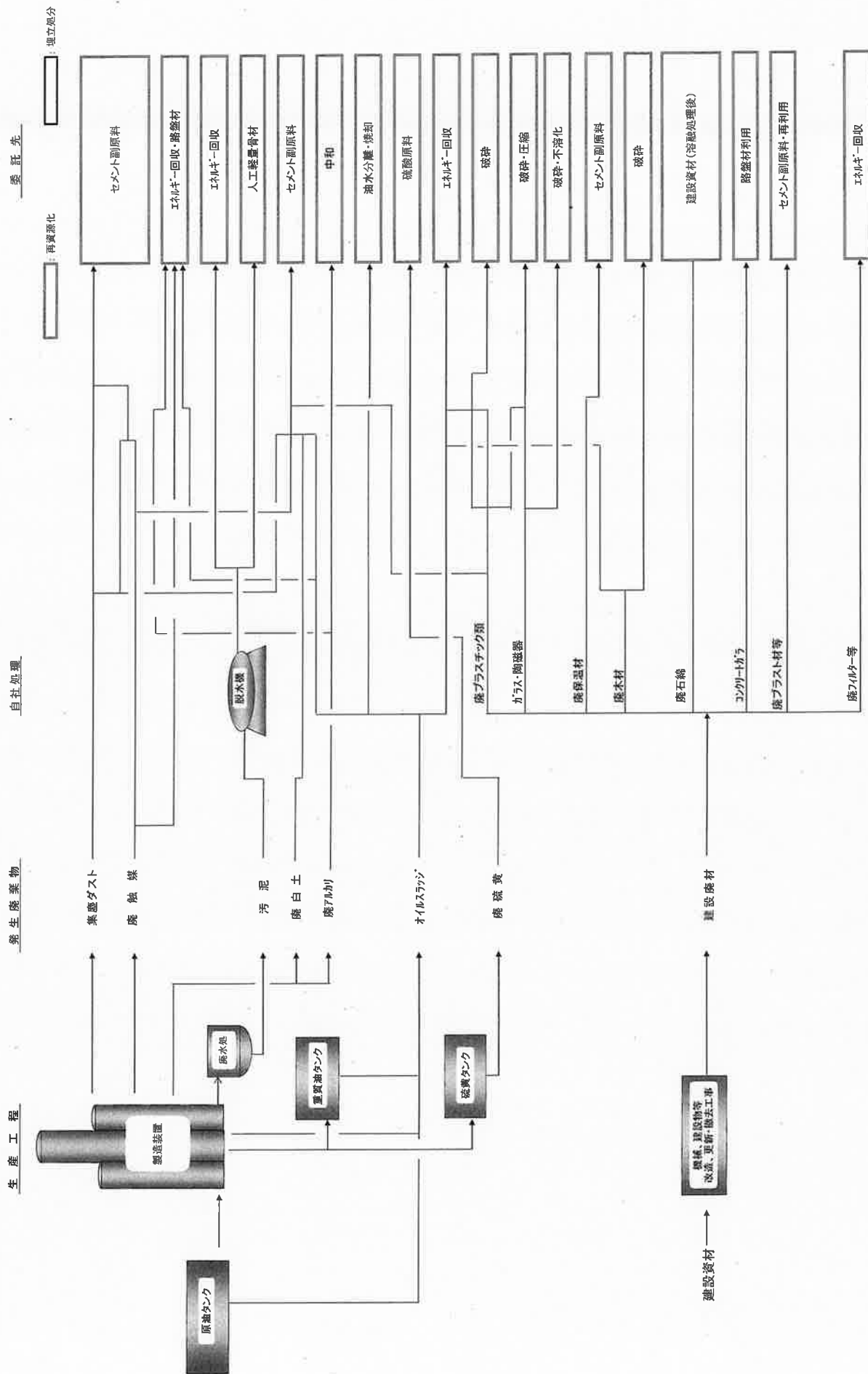
【前年度令和6年度実績】

①現状	廃棄物の種類	総計	汚泥	廃油	がれき類	廃プラスチック類	金属くず	ばいじん	廃アルカリ	ガラス 陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	3,912	1,616	1,299	198	107	7	621	0	31	33
	優良認定所理業者への 処理委託量	2,631	1,289	1,184	63	88	7	0	0	0	0
	再生利用業者への処理 委託量	2,338	1,260	88	198	107	0	621	0	31	33
	認定熱回収業者への処 理委託量	1,189	156	1,033	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	385	200	178	0	0	7	0	0	0	0

【令和7年度目標】

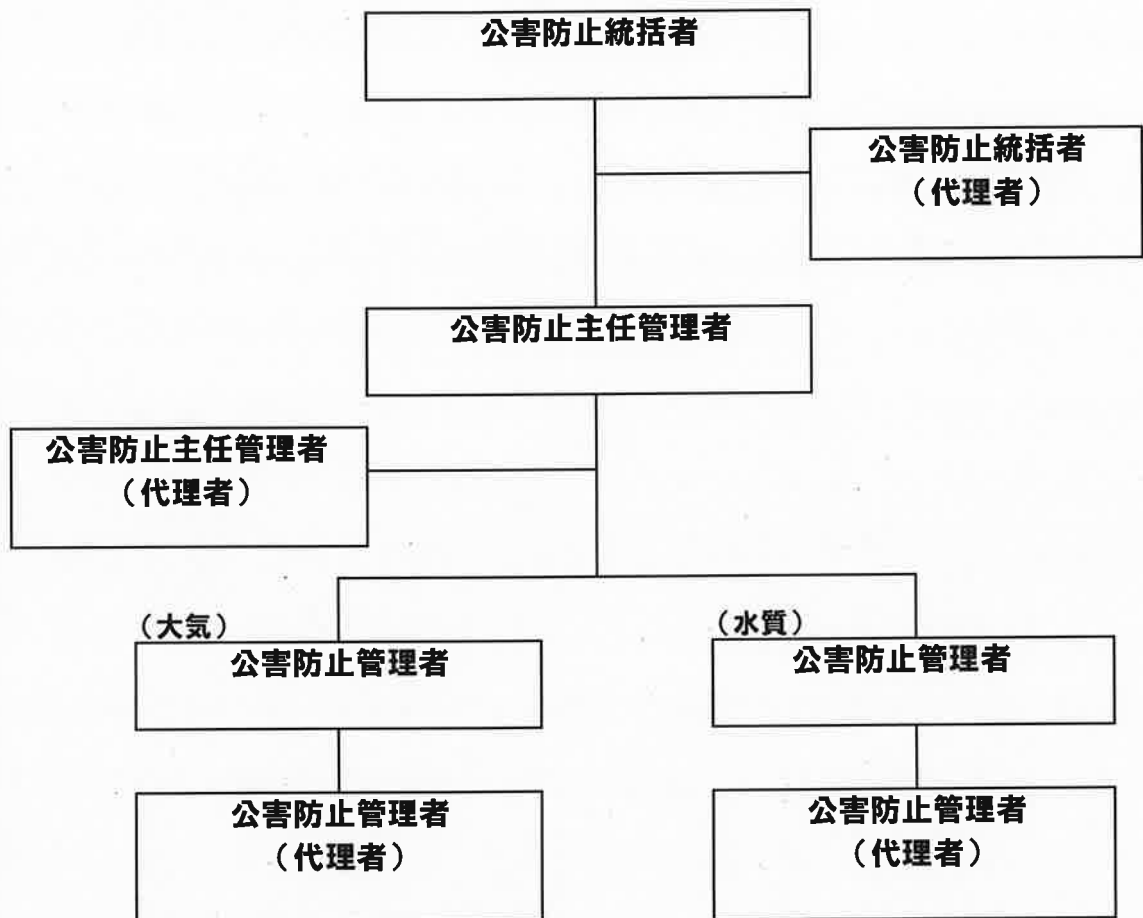
②計画	廃棄物の種類	総計	汚泥	廃油	がれき類	廃プラスチック類	金属くず	ばいじん	廃アルカリ	ガラス 陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	4,836	2,400	1,305	129	90	10	840	0	22	40
	優良認定所理業者への 処理委託量	2,855	1,920	655	0	80	0	200	0	0	0
	再生利用業者への処理 委託量	2,486	1,435	10	129	10	0	840	0	22	40
	認定熱回収業者への処 理委託量	1,285	785	500	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1,065	180	795	0	80	10	0	0	0	0

産業廃棄物発生・処理工程



公害防止管理組織等一覽

公害防止管理組織表



廃棄物管理者

産業廃棄物処理責任者

環境安全グループマネージャー

特別管理産業廃棄物管理責任者

環境安全グループ員

[illegible]

【特に下記の6点は徹底してください】

- (1) 硫化鉄の付着した廃棄物は、自然発火の原因となるので水封後、環境安全グループ指示を受けること。
- (2) 廃棄物を詰めたバニール袋等には、会社名・職名、事務所名を記入すること。
- (3) 廃棄物を詰めたバニール袋等の大きさは45L以下またはセメント袋程度の大きさとする。
- (4) 廃棄物を所外から持ち込むこと、また私物は廃棄しないこと。
- (5) 家電製品、バッテリーは廃棄しないこと。
- (6) 下記の内容は原則として計画段階から、環境安全グループと相談すること。
 - ・飛散性石綿廃棄物が発生する解体工事等の場合
 - ・廃棄物をベタ積み・詰め輸送からダンパー車等で直接所外へ持ち出す超短時間する場合
 - ・廃棄物が多量に発生するなど廃棄物置場へ搬入が困難な場合（仮置場設置、関係グループへの調整等）
- ・PCB含有廃棄物など焼く廃棄物は別途環境安全GHに連絡し指示を受ける事

種 別	⑩ 紙くず (青コンテナ)	⑪ 廃 ウ エ ス (青コンテナ)	⑫ 廃蛍光灯 (小屋内ボックス)	⑬ 廃ガラス	⑭ ダ ン ポ ー ル (小屋内)	⑮ 廃 乾 電 池 (ドラム缶)	⑯ ペットボトル (コンテナ)	⑰ 特定有害産業廃棄物 (第5保管倉庫)
廃棄物名	<ul style="list-style-type: none"> 紙くず 食品容器のプラスチック類 その他可燃の一般廃棄物 生活生ゴミ 	<ul style="list-style-type: none"> 吸着マット、シート類、ビニール類 ゴム類及び半袋(ビニール・ゴム・紙袋) 等は絶対に混在させて廃棄しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃型蛍光灯 水銀灯 	ガラスびん 理化学用ガラス器具 食器・業務用ガラス容器 箱ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ダンボール類 	<ul style="list-style-type: none"> 廃乾電池 (ドラム缶) 	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトル (リサイクル回収) 	<ul style="list-style-type: none"> 破の紙含有廃棄物 焼PCB 廃水銀廃棄物 その他有害廃棄物 (有害廃棄物袋頭、有害物質含有廃紙類等)
注	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川指定の事業用ゴミ袋に入れて出す事。 食品容器類は内容物を取り除き洗浄して廃棄すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃ウエスは、ビニール袋(45リットル以下)へ入れて廃棄すること。 油が滴るくらい多量に油が付着したものは、⑩のスラッシュドラム廃棄場に搬入すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃蛍光灯は、割らないこと 廃蛍光灯以外の物は絶対にボックス内には入れないこと。 	付着物及び内容物は取り除き、水できれいに洗浄すること。 フタ等の金属、プラスチック類は取り外すこと。 砕くことはせず廃棄すること。	<ul style="list-style-type: none"> ビニール、紙衝材は取り除き廃棄すること。また、ゴミ等を入れて廃棄しないこと。 ダンボール、袋等の内容物は取り除くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃乾電池以外は絶対にドラム缶へ入れないこと。 廃棄の際は、面紙を焼紙テープで巻くこと。 ※セロテープ可 	<ul style="list-style-type: none"> 内容物を捨てた後、水洗す。 ※キャップを取り外す。 ※キャップは再資源化できる為、別途回収する。 	
意	<ul style="list-style-type: none"> ダンボールは、⑩に廃棄すること。 						<ul style="list-style-type: none"> 透明のビニール袋(70～80リットル)に入れること。 	
事 項	<ul style="list-style-type: none"> コンテナが満杯の場合は廃棄物搬出担当(セバク)の指示を仰ぐこと 							